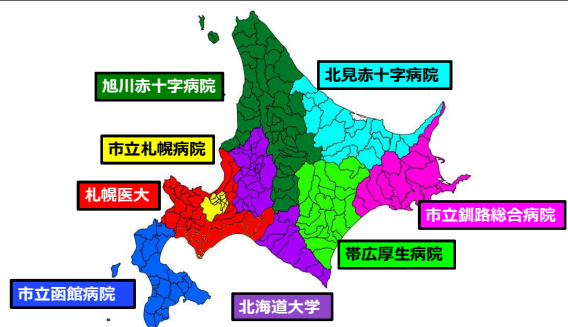


救急医以外のMC関与の現状と 今後の教育について ～北海道MCの現状から～

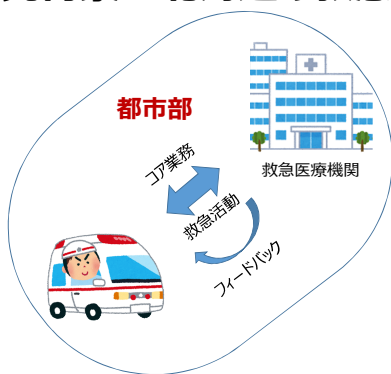
第44回日本救急医学会総会、2016年、東京

研究背景：北海道のMC体制

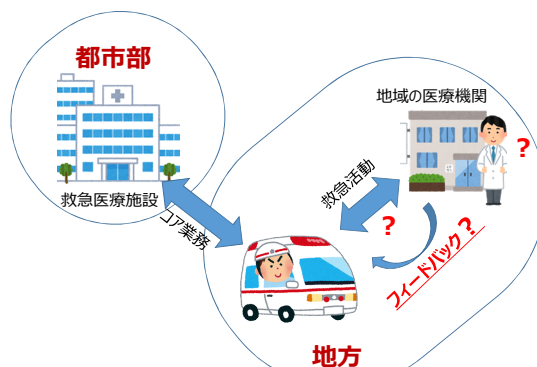
救急救命士の特定行為に関わる業務(以下コア業務)のみ
⇒8地域を医療機関ごとに分担



研究背景：北海道の救急医療



研究背景：北海道の救急医療



本研究の目的

北海道内のコア業務以外での

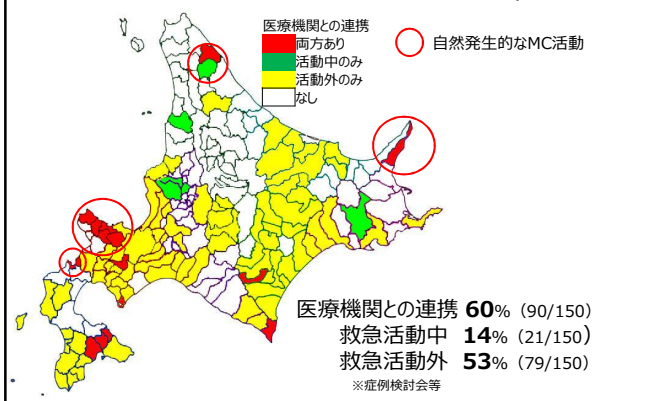
1. 救急隊と医療機関との連携
2. MC活動に参加している
救急医以外の医師の割合と現状
を明らかにし、今後の方向性を検討する

方法

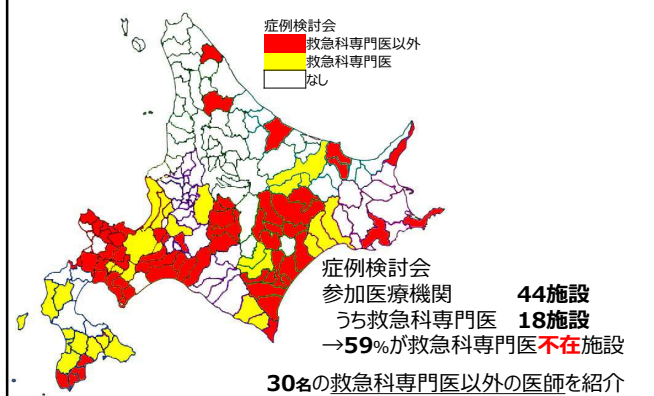
1. 北海道内の全消防本部
 - ・コア業務外の医療機関との連携の有無
救急隊活動内、活動外
 - ・中心となっている医師名
2. 中心となっている医師
 - ・専門分野、対象症例
 - ・症例検討会について
 - ・MC講習会への参加希望
 - ・救急科専門医に期待すること

それぞれアンケート調査施行

結果1：コア業務外の地元医療機関との連携 回答率100% (150/150)



結果2：症例検討会と救急科専門医の関わり



結果3：救急科専門医以外からのアンケート結果
～症例検討会について～ 回答率60% (18/30)

専門科	
4名	総合診療科
	脳神経外科
3名	外科
2名	麻酔科
	循環器内科
1名	内科
	小児科
	整形外科

対象症例	
・全般	14名
・専門分野のみ	4名
	脳神経外科 3名
	小児科 1名

結果4：救急科専門医以外からのアンケート結果
～症例検討会について～ 回答率60% (18/30)

誰が症例検討会を始めたのか？	
自分	9名
他医師	5名
救急隊	3名
わからない	1名

参加のきっかけは？	
自分の希望	9名
立場上	3名
他の医師からの依頼	2名
救急隊からの依頼	4名

症例検討会は必要か？	
病院、救急隊両方にとって必要	17名
救急隊にとって必要	1名

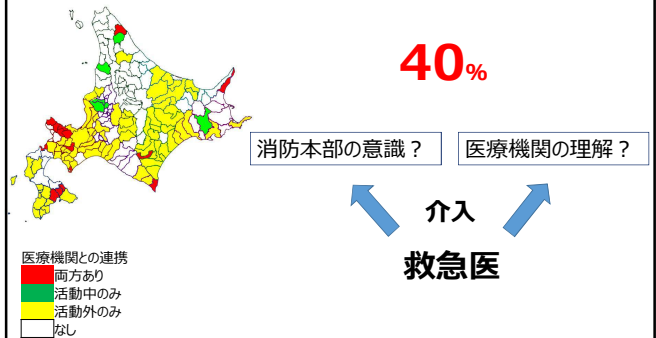
結果5：救急科専門医以外からのアンケート結果
～MC講習会について～
～救急専門医に期待すること～

MC講習会に参加したいか？	
是非参加したい	7名
参加したい	8名
どちらでも良い	2名
内容による	1名

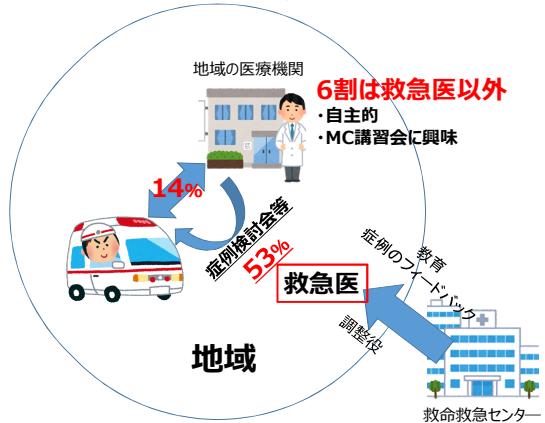
MC講習会で希望するテーマは？	
・地域連携の方策	
・僻地でのMC	
・他都道府県のプロトコル	
・救急隊員の教育方法	
・CPAの搬送先について	
・救急遠隔医療ネットワーク	
・初期治療の具体的方法	
・多様化する患者ニーズへの救急対応	

救急専門医に期待することは？	
教育	3名
救急医療の調整役	2名
救急症例のフィードバックが欲しい	2名

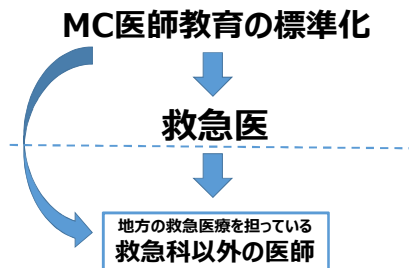
考察 1：消防と医療機関の連携がない地域



考察2：消防と医療機関の連携がある地域



考察3：MC医師教育



結語

北海道の地方ではMCに関わっている救急科以外の医師が多いことがわかった。

今後のMC体制には消防と地元医療機関に救急医が加わる体制が必要と考えられた。

地方には自然発生的に確立されたMC活動があり、今後のMC教育に活かせる部分があるため、更なる調査の必要性を感じた。